

St. Luke's International University Repository

第1回聖路加看護学会総会議事録

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10285/581

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



第1回 聖路加看護学会総会 議事録

- 1996年9月15日 12:45～13:25
- 於：聖路加看護大学 アリス C. セント ジョン メモリアル ホール
- 総合司会：小 澤 道 子

開 会

総会司会：羽山由美子理事により総会が開会された。

総会は、会員177名中 出席102名（受付71名・委任31名）で成立した。

理事長あいさつ 常葉恵子理事長よりあいさつが行われた。

議長選出 常葉恵子理事長が選出された。

I. 事業報告

1996年4月より本日までの事業が庶務担当川口千鶴理事より報告された。

4月の設立総会より5回の理事会が開催された。

事業内容としては以下の通りであった。

- ①設立総会での検討事項
- ②第1回学術総会準備
- ③会員の勧誘（聖路加看護大学同窓会・聖路加看護大学教職員・聖路加国際病院職員など
に入会案内の発送）
- ④会員の承認：1996年9月3日第5回理事会開催現在 会員177名

II. 議 事

1. 会則改正

羽山由美子理事より総会資料p. 2～p. 4の会則に関して、設立総会で出された検討事項、および会員からの意見について理事会で検討した内容が説明され、以下のように会則改正案（総会資料p. 5）が提案された。

【提案】

第1条：本会は、聖路加看護学会（St.Luke's Society for Nursing Researchまたは、St. Luke's Society for Nursing Science）と称す。

（提案理由）この条文に関しては、設立総会後複数の会員より意見が出されたため、理事会で検討し、その結果“Society for Nursing Research”または“Society for Nursing Science”の2通りが提案された。

第12条：2 評議員の欠員が生じたときは……

（提案理由）語句の訂正。

第20条：3 総会は、会員の5分の1以上の出席をもって成立とする

(提案理由) 総会の成立の条件として設立総会で決議し、決定した事項を追加。

第26条：本会の会計年度は、毎年10月1日に始まり、翌年9月30日で終わる。

(提案理由) 会計年度は、毎年9月に開催される予定(設立総会後の理事会で検討)の学術大会にあわせ、10月1日～翌年9月30日とすることを検討した。

【討議および決議】

●第1条

質疑応答がなされた後、

- | | |
|-------------------------------|----|
| ①society for nursing research | 34 |
| ②society for nursing science | 30 |
| ③society of nursing | 5 |

の3通りの選択肢から挙手(挙手総数61)にて、以下のように決議した。

『第1条 本会は、聖路加看護学会(St.Luke's Society for Nursing Research)と称す。』

●第12条、第20条、第26条については拍手にて以下のように決議した。

『第12条 2 評議員の欠員が生じたときは、評議員会で新たに推薦・決定し、残任期間その任に当たるものとする。』

『第20条 3 総会は、会員の5分の1以上の出席をもって成立とする。』

『第26条 本会の会計年度は、毎年10月1日に始まり翌年9月30日で終わる。』

2. 1996年度 事業計画案・予算案

<事業計画案>

庶務担当川口千鶴理事より以下の5つについて説明された。(総会資料p.6)

- (1)第2回学術大会(1997年)の開催：1997年9月27日(土)、聖路加看護大学 アリス C. セント ジョン メモリアル ホールにて予定している。
- (2)第1号聖路加看護学会誌の発行
- (3)ニュースレターの発行
- (4)会員相互の学術交流
- (5)入会のおさそい

【質疑応答】

会計年度と年度の見方について、学術大会の経費を支出する年度と報告の方法について質疑応答がなされた。

<予算案>

会計担当鈴木千衣理事より会計について説明された。

本年度の会計は、4月13日から1997年9月30日まででたてている。

資料に記載された以外の説明事項及び訂正は次の通りである。

[収入]

- ①収入内訳として、会員数を300人と見込んでたてている。
- ②平成8年度会費を「1996年度」に訂正。

[支出]

- ①会 議 費：理事会の弁当代をひとり1000円以内を考え、この期間に12～14回程度の理事会の開催を考えている。
- ②複写印刷費：聖路加看護大学同窓生、大学・病院関係者への入会勧誘のためのお知らせの印刷、入会申し込み書、学会用封筒の印刷に使用した。今後、ニュースレター、学会誌、来年の学術大会のお知らせなどに使用する予定である。
- ③郵 送 費：聖路加同窓生、会員へのお知らせに使用した。今後は、ニュースレター、会誌、来年の学術大会のお知らせ等に使用する予定である。
- ④消 耗 品：初年度の為、学会関係の印鑑類の作成費用、その他文具類を予定している。
- ⑤人 件 費：会員の名簿づくり、学術大会の案内の発送作業にアルバイトを依頼。今後も名簿づくりやニュースレターや会誌の発送作業にアルバイトを依頼する予定である。
- ⑥学会誌作成：編集会議費、学会誌の印刷等を見込んでいる。
- ⑦学術大会企画準備費：学術大会の運営に際しては、参加費でおこなうことになるが、学会予算の中からも、1回につき10万円を計上しており、今回と来年の大会のための予算を計上しているため、20万円となっている。
- ⑧学術的交流のための費用：事業計画案で説明されたような会員相互の学術的交流に使用する予定である。

【質疑応答】

学術大会参加費の収入は、学会の収入の中にどのように入るのかについて質疑応答がなされた。

【決議】

拍手にて事業計画案、予算案について承認。

議事終了

次回学術大会について

第4回理事会で、聖路加看護大学 飯田澄美子教授が第2回学術大会会長として選出された。期日は、1997年9月27日開催予定である。

第2回学術大会会長より挨拶

今回は、1日を計画し、一般演題の発表を入れる予定であることが説明された。

閉 会